

パパママ・キッズ婚の現状について

講師
一般社団法人 日本子育て支援協会
岩本久実子氏



パパママ・キッズ婚当日の過ごし方、好評な演出

結婚式当日、あとは式場側にて全てをお任せしてもらうところですが、パパママ・キッズ婚の場合、子どものケアで時には予測不能なことがあるものです。

式当日、お子さまはどうされましたか？とリサーチをしたところ、「新郎新婦と一緒に過ごした」は47%、「両親や親族へお願いした」は53%という結果に。(ミキハウス子育て総研(株)「パパママ・キッズ婚に関するアンケート」より)

当日どのように過ごすかは子どもの月齢年齢により変わりますが、いずれの場合にも子どものグズリや体調崩れの可能性もあるため、子どもの面倒をみてもらえる人物のお願いが必要です。

多くが新郎新婦の親御様へ依頼されていますが、式場側としてはベビーシッターの事前希望があった場合に即座にご提案できる準備が求められ

緊急時の診療可能な病院の把握を

ます。またお子さまが急な発熱やケガなど発生した場合、土日でも診療可能な病院の把握をしておき、もしもの時に対応できるようにしておきましょう。

一方、授乳中やオムツをしている乳幼児の場合には、できるだけ披露宴会場に近い場所に新郎新婦の控室を用意し、なるべく移動の負担を減らしてあげることも配慮の一つです。

さてここで、パパママ・キッズ婚で好評な演出についていくつかご紹介しましょう。

過去14回の開催をしているパパママ・キッズ婚プランナー養成講座ですが、毎回受講者からこれまでに行ったパパママ・キッズ婚演出を発表してもらい共有しています。今回はそこで挙げられた演出の一例を特別にご紹介します。

◆「結婚証明書にお子さまの手形サイン」

パパママ・キッズ婚の証となりお子さまの成長後に一緒に見る楽しみにもなります。

◆「お子さまと一緒にのケーキ入刀やファーストバイト」

月齢によっては離乳食でファーストバイトでもいいですね。

◆「お色直しの再入場時にお子さまの衣装当てクイズ」

パーティ前に投票を行い再入場時に結果発表。キャラクターものの衣装などコスプレでもかっこいいです。

◆「一升餅のセレモニー」

結婚式の中でお子さまの1歳の誕生日のお祝いも兼ねて、一升餅を背負わせる演出を。

◆「未来のパパママ・お子さまへタイムカプセルを」

未来のパパママ・お子さまへのメッセージを宴中にタイムカプセルへ入れ、ゲストが立会人になる。

上記はほんの一例ですが、奇抜な演出ではなくとも“お子さまと一緒に”というだけで、スペシャルな演出となります。それだけ子どもという存在は大きなものです。

実のところ、結婚式当日に

困ったことはありましたか？というリサーチを実施したところ、パパママ・キッズ婚ファミリー7割近くの方たちが、「何もなかった」という答えでした。

おそらくその7割の方たちの中にもちょっとしたトラブルや進行がスムーズに進まなかったなどもあったと思いますが、それ以上に子どもと一緒に結婚式が挙げられたことの幸福感や充実感がこの数字を生み出したのではないかと我々は分析しています。

結婚式当日を迎えるまでにはパパママ・キッズ婚ならではの大変なこともあります。その分、家族で乗り越え挙げた結婚式は幸せが何倍にもふくらむ、それがパパママ・キッズ婚ではないでしょうか。

